

# 請負契約書（案）

- 1 工事番号 7 東温高第2号
- 2 業 務 名 愛媛県立東温高等学校武道場及びアーチェリー練習場  
整備事業
- 3 履行場所 愛媛県東温市志津川960番地
- 4 履行期間 着工 令和 年 月 日  
完成 令和8年3月13日
- 5 請負代金額 ￥  
うち取引に係る消費税 ￥  
及び地方消費税の額
- 6 契約保証金
- 7 建設発生土の搬出先等

〔注〕 この工事に伴い工事現場から建設発生土を搬出する予定である場合は、「建設発生土の搬出先については仕様書に定めるとおり」と記入し、仕様書に建設発生土の搬出先の名称及び所在地を定める。なお、この工事が資源の有効な利用の促進に関する法律（平成3年法律第48号）の規定により再生資源利用促進計画の作成を要する工事である場合は、受注者は、工事の施工前に発注者に再生資源利用促進計画を提出し、その内容を説明しなければならず、工事の完成後に発注者から請求があったときは、その実施状況を発注者に報告しなければならない。

- 8 解体工事に要する費用等

〔注〕 建設工事が、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号）第9条第1項に規定する対象建設工事の場合は、(1)分別解体等の方法、(2)解体工事に要する費用、(3)再資源化等をするための施設の名称及び所在地、(4)再資源化等に要する費用についてそれぞれ記入する。

上記の工事について、発注者 愛媛県立東温高等学校長 灘野 達人と受注者 とは、 各々の対等な立場における合意に基づいて、別添の条項によって公正な 請負契約を締結し、信義に従って誠実にこれを履行するものとする。

〔 また、受注者は、別紙の〇〇共同企業体協定書によりこの契約書記 〕  
載の工事を共同連帯して請け負う。

この契約の証として、書面又は電磁的記録により契約書を作成する。書面により契約書を作成する場合は、本書2通を作成し、発注者及び受注者がそれぞれ記名押印の上、各自1通を保有する。電磁的記録により契約書を作成する場合は、発注者及び受注者がそれぞれ電子署名を行い、各自その電磁的記録を保存する。

なお、電磁的記録により契約書を作成する場合は、受注者が先に電子署名を行った後、発注者が電子署名を行い、発注者が電子署名を行った日をもって契約締結日

とする。

[注] [ ] は、受注者が共同企業体を結成している場合に使用する。

年 月 日

発	注	者	住所	
			氏名	印

受	注	者	住所	
			氏名	印

[注 1] 工期の着工日は、電磁的記録により契約書を作成する場合、必要に応じて、「契約締結日の翌日から」と記載すること。完成日は、年月日を記載する。

[注 2] 電磁的記録により契約書を作成する場合は、「年月日」及び「印」を削除する。

[注 3] 受注者が共同企業体を結成している場合は、受注者の住所及び氏名の欄には、共同企業体の名称並びに共同企業体の代表者及びその他の構成員の住所及び氏名を記入する。